

毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）



編輯長 森山 二郎  
副編輯長 田上 野郎  
發行所 野田 上野  
印刷所 野田 上野  
社址 野田 上野  
電話 野田 上野

### 絹織物輸出促進策

我が國の絹織物の輸出は年々減退の傾向にあることは甚だ寒心に堪へぬ處である。

由來わが國は原料生糸に恵まれてその産額は世界的に嶄然一頭地を抜いてゐる、又單に産額に於てのみならず品質に於て亦然り更に機械の術に於ても古來熟達しこれまた他國の追従を許さないものあるに拘はらずその製品の輸出は最近頗る不振の傾向にあることは返す／＼も遺憾とせざるを得ない。

先年米國はわが國よりの絹織物輸入に對して關稅を引上げ、又英佛は近時わが絹織物の品質低下を指摘して改善を促す處再々である。

即ち前者は國內絹織業者の保護を目的とする輸入の防遏であり後者は品質低下による需要回避の警告である。而も何れもわが國絹織物にとつては大事な顧客先である。此の大事な顧客からかゝる手段及び方途に出られたといふ事はわが國絹織業者として大いに熟慮せねばならない事だと思ふ。

N 生

米國の關稅引上げはいふまでもなく自國內絹織業者保護の目的に出たものであらう。されば我國としては從來に於ける價格の點を第二として彼國の嗜好に投ずるもの、即ち價格の如何に拘はらず彼國人の欲求する新考案品を創造する事に研究努力し以つて輸出の減退を防止する事に努めなければならぬ。

英國佛國等よりの品質低下に對する警告はまことにわが絹織業者にとりては好個の刺戟劑である從來輸出仕向地から此種の警告が頻々として寄せられたけれどもわが絹織業者はその當座こそ今更の如く改善を痛感せる如き口吻を洩らすが暫らく時を経れば忽ち忘れ去りたるが如く一向改善の意向がなかつた。それは何だ彼だと苦情はいふても繼續的の註文があつたからである。

併し近時の警告はわが國輸出絹織物として重要な得意先なる英國佛國からであり而も亦在里昂領事は右に對する事實を具體的に報告し、同時に如何にすれば今後本邦輸出絹織物

（著名大なる成に手の窓同）

山本三六郎著  
化學純絹絲の工業的完成  
工業的完成  
改訂  
菅原勇治著  
蠶絲業法規要論  
¥2.30  
市田上野野長  
會究研學科絲蠶 所行發  
（振替長野6413番）

が信用を昂め需要を喚起され得べきかの事實をも附加し來れる點等に於て當業者も多大の注目を拂つてゐるやうであり、又政府當局に於てもこれらの事象は單なる一時的の現象ではなく、將來憂慮すべき事態を醸す結果となるべきやをおそれこれが對

### 獨逸・和蘭・白耳義・佛蘭西・英吉利及北米合衆國地方農業視察並生物學研究所訪問概記報告

長野縣農業試驗場 松村 季 美

實驗進化學研究所は二つの主建築物より成り一は事務所に於て其所には事務室及圖書室あり、圖書室特に遺傳學に關する印刷物1000巻を備ふ海岸に近き他の一の建築物は動物飼育室並實驗室にして前記二大建築物の他數多の溫室鳩飼育舎等附近に散在す。研究所長は有名なる遺傳學者にしてまた優生學者たるチアレズ・グレイ・スライ氏にして次長はグレイ・スライ氏とす。

同所に於ける研究事項は次の如し  
1、生殖細胞遺傳質其機構突然變異染色體の研究  
2、ダチュラ及ドロソフィラ並ン

策を講究する事になつたとの事である。

吾人はかく當業者の自省と政府當局の對策講究によつて今後わが輸出絹織物は著しく改善されるであらうことを信するものであるが併し從來に於けるが如き當業者の態度を以つてしては果してよく吾人の希ふが如き結果を得るであらうか甚だ疑なきを得ないのである。政府が如何に注意したとて肝腎其の衝にある當業者が眞に自覺内省するに非ずんば到底充分を期せられ得べきものでない。吾人は此の點に對し衷心當業者の考慮を促してやまないものである。

（六・七三）

の突然變異に就て（特に細胞に起る突然變異）

リツドル氏 鳩の生殖、並兩性の生物化學的研究  
ダブンプット氏 人間の生長、哺乳動物に於ける矮小性及双子の遺傳研究

是にして是等貴重なる研究業績はワシントン市に於けるカアネギイ研究所本部報告として刊行され遺傳學研究者の貴重にして重要な文献として役立つあり。同所文献に就き既刊全部を購入す）

2、優生學記録所  
本所は當初(1910年)イェツチ、ハリマン夫人の創立に係る。1928年同夫人は建物敷地共に進化學研究所(前記)に寄贈したるが故に1921年進化學研究所と優生學記録所の兩者を以てカアネギイ遺傳學研究所となし其事業を繼續するに至れるなり。

本記録所長はダブンプット氏にして次長はエツチ、エツチ、ラフリン氏とす。  
本記録所の事業は其名の示すが如く米全土に亘り遺傳的特性に關する研究を系統的に個々の家系に對して調査記録し之を類別保存し必要に應じて報告、彙報等の印刷物として刷行し以て人類の自然的、肉体的、精神的、性能を向上改善せしむ可き優生學に貢獻するに在り。其規模の廣汎にして記録研究の精細なる到底他の等類似の研究所に於て匹敵し得ざる所とす。次長ラフリン氏自ら懇切丁寧同所階上階下案内説明の勞をとられ且優生學に關する研究調査印刷物多數を分與せられたる好意を感謝せざる可らず。

(D) 三月十日

1、農務省

同省農業經濟局に就き米國に於ける農會の組織並事業を局長エンリランド氏に尋ね氏の懇切なる説明を聽く、其内容我國帝國農會に類似したる點多きを認めたり。

2、政府印刷局

同局に於て農工、商に關する調査研究事項を各別小冊子として印刷に附し、安價を以て希望者に譲渡す其多くは數字を以てせる統計表なるが故に米國の殖産工業の動的状態を調査せんとする場合必要欠く可らざる資料にして米國なればこそ如斯き多大の費用と努力を要する事業を容易に遂行し得べしと感嘆せざるを得ざりき、印刷物は何れも一目瞭然たるカタログによりて其内容を知り得可きが故に各部門の記號並番號を記載して申込み時は極めて多數の印刷物と雖も直に取揃へて需要に應じ得る様計劃せられ其正確、其敏捷、以て事業遂行上の他山の石とも思惟せられたり、同局に就き米國の織物工業農業生産状態等に關する幾多の印刷物を購入す。

3、ワシントン、カネネイ研究所

同所は本部をワシントン府に有す本研究所は1903年アンドリュウ、カネネイ氏によりて設立せられたるものにして同氏一千萬弗の寄贈金に更に1907年200萬弗、1911年一千萬弗を寄附せり。同研究所は當初カネネイ研究所として認められしが後ワシントンカネネイ研究所として法人として組織せらるるに至れり。同研究所設立の目的は科學の進歩發

達を企圖し以て國民民福を招來するに在り。其研究部内は從つて廣汎に別たれ研究所及研究者は米大陸全土に分布せらるるの状態にして既記せるコルドスプリング、パアパアに於ける遺傳研究部の如き其一に屬す。今本研究所の部門並研究所長の氏名を記せば次の如し。

發生學研究部(バルチモア所在)

部長 デイ・エル・ストリイター

遺傳學研究部(ロングアイランド所在)

部長 シイ・ビー・ダベンボウト

地質物理學研究部(ワシントン所在)

部長 エイ・エル・デイ

歷史研究部(ワシントン所在)

部長 エイ・ヴィ・キツグア

ニイ所在)

部長 ビエヂヤミン・ボス

ウイルソン山天文台(パサデナ所在)

部長 ダブル・エス・アダムス

營養研究所(ポストン所在)

部長 エフ・デイ・ベネデクト

植物學研究部(スタンフォード大學所在)

部長 エツチ・エム・ホウル

地球磁氣力研究部(ワシントン所在)

部長 エル・エイ・パウエル

トルチエガス研究所(トルチエガス所在)

部長 ダブル・エツチ・ロングレ

イ

各所に於ける研究事項はカネネイ研究所印刷物(Publications of Carnegie Institution of Washington)として出版せられ斯學研究者の

好參考資料たり。

(C) 米國海軍部

同研究所はデニスボブキンス大學の一建築物地下室に在り稍古き教室多しと雖も同所には動物學者として有名なるデニングス氏、遺傳學者として有名なるバル氏、蠅類の細胞學者として有名なるメツツ氏に在り。デニングス教授並メツツ教授親しく各研究事項に關し懇切に説明を與へられたり。前者は永年研究せるゾオリ虫並環虫に就て、その温度に於て接合生殖を行はしめ其遺傳の状態の研究を繼續せられつつあり氏の研究材料たるゾオリ虫こそは實に氏をして丁抹のヨハンゼン氏によりて唱導せられたる純系統を裏書せしめたる効績者なりとも云ひ得可し後者は果實蠅の生殖細胞、染色体の差異等に關し美事なる染色體研究の圖を發表せる新進の學者にしてモルガン門下の他の方面(細胞學研究)の權威なり。氏の染色体の photo を親しく鏡檢し得たるは忘れ得ざる喜なりき、氏は今や蠅類の一なるシアラ蠅(Drosophila)を材料として細胞分裂の決定等に關する甚興味ある研究を續行せられつつあり。バル氏は鶏の産卵性の遺傳に關する精細なる研究を遂げ、生物測定學的の研究に従事せらる、氏の教室をば視察するを得ざりき。

(D) 米國海軍部

1、ハアヴァド大學應用生物學研究所

同所はポストンの南部フォレストヒルに在り、本研究所の目的とする所は動物及植物學の應用方面に關し

て研究を施行し得たる理論を農業園藝及林業に應用せしむるの外、是等事項を研究せんとする學生の指導教授に在りとする。

本研究所は當所ベンヂヤミン、ブツセイ氏によりて發意創立せられハアヴァド大學研究所の一部門となれり、1911年の創設に係る古き歴史を所有す。本研究所の部門並主任研究者氏名次の如し。

經濟昆蟲學

ホイイラア教授

動物遺傳學

キヤツスル教授

植物遺傳學

エイスト教授

植物解剖學

ペイレイ教授

植物細胞學

ザツクス教授

經濟植物學

アマス教授

植物病理學

フアウル教授

林學

ガスト博士其他

不肖の視察せる際は植物遺傳學者として有名なるエイスト氏の故を以て在らざりしが動物遺傳學者(モルモット、兎、鼠)として著名なるキヤツスル教授、植物細胞學者として

名有るザツクス氏及キヤツスル門下の研究者キイアラ氏等に面接し得民等の研究業績に就て詳細なる説明を聽取することを得たり。

キヤツスル老教授は自ら階下の兎飼育室に不肖を導き氏が多年從事せる体毛の長短、体色の黒白、体重の大小等に關する遺傳研究の結果に就き一時間余の長きに亘り實物に就きて説明を與へられたるにより氏が既報せる幾多の論文に就て其内容を更に明確にする事を得たり、更に氏の門下キイアラ氏は二十日鼠の飼育室に不肖を導き氏の研究中に在る二十日鼠の黒色体色と致死因子、無毛性、盲目性(不感光性)の遺傳等に關する興味ある研究業績の説明を受け更にザツクス氏の實驗室に於て氏の從事せる植物細胞學に關する遺傳研究事項に就き鮮麗なるプレパラートを指示して説明を受けたるは何れも喜ばしき記憶なり。(つづく)

臺北帝國大學ヨリ

臺大田中亮

臺北帝國大は最新設大學として生れて日尙淺き爲學生收容能力大ではない。併し相當の收容能力を有するは事實だが學校の方針として比較的少數の學生しかとらぬとの事である。

本年度は幸にして下記の如く傍系よりの入學志願者に入學の機會を與へた。

因に本學は文政學部と理農學部及附屬農林專門部よりなり理農學部は

生物學科、化學科、農學科、農藝化學科よりなる。

理農學部の昭和六年度入學概況及入學檢定試験問題を次に示す。

注意 高等學校(第一次)とあるは無試験入學者にして高等學校(第二次)は傍系と共に入學檢定試験にパスしたもの。高等學校項中入學許可者數志願者に比し少きは卒業未了の爲なり。

昭和六年度理農學部入學志願者及入學者

Table with columns for school type (高等學校, 高等農學校, etc.), subject (生物學科, 化學科, 農學科, 農藝化學科), and applicant status (志願者, 入學者).

試驗問題

英文和聲
1. As Bousningault has pointed out, the influence of heat on the growth of crops may be well studied on the sides of high mountains in tropical countries. While palms and the like grow at the base of the mountain, maize succeeds best at heights where the temperature is not too high, while heat may be grown successfully at still higher altitudes. It is true of some of these regions that experience has determined with a considerable degree of accuracy the limits of temperature within which each of the crops above named may be grown with profit.
2. Town and country are mutually dependent. The threads of our national life are now so interwoven that the problems of the country and the city cannot be wholly separated. The high cost of living is forcing city dwellers to investigate more closely the origin of the values of the products bought for the family table, and is inducing the farmer and the gardener to study the city market quotations, the cost of transportation, the influence of good roads, and related problems.
3. A struggle for existence inevitably follows from the high rate at which all organic beings tend to increase. Every being, which during its natural lifetime produces several eggs or seeds, must suffer destruction during some period of its life, and during some season or occasional year, otherwise, on the principle of geometrical increase, its numbers would quickly become so inordinately great that no country could support the product.
4. Nations, like men, pass from youth to age, and then die out - so it may appear to the superficial observer; but if we look at the matter a little more closely, we shall find that, as the conditions for the continuance of the human race which nature has placed in the ground are very limited and readily exhausted, the nations that have disappeared from the earth have dug their own graves by not knowing how to preserve these conditions. Nations (like China and Japan) who know how to preserve these conditions of life do not die out.

物理學試驗問題

(1) 剛体の二つの力が作用するとき剛体は如何なる運動をするか。但その力の作用線は剛体の質量中心を通らぬものとする。
(2) 気体の定圧比熱と定積比熱とが其の値を異にする理由を述べ、兩者の關係を示せ。
(3) 光電効果に關するフランクマンの式を説明せよ。
化學試驗問題
(1) 相律とは何か。
(2) 次の化合物の名稱如何且其の特性を簡潔に述べよ。
Na2S2O3, 5H2O, CH3CH2CN,

OH, KJO3, C2H6O4, COCl2, A5H9, CH3COCH3, K3Fe(CN6), C6H5OH, NO2
(3) 次の諸元素の硫酸鹽混合物の分離定性法を述べよ。
Fe, Ag, Ba, Sn, Cu
以上
動物學試驗問題
(1) 原生動物に於ける核の作用を問ふ。
(2) 住血吸蟲とは如何なる動物か。
(3) 動物分布學上東洋洲 (Oriental Region) とは如何なる地方を指すか。
(4) 食細胞 (Phagocyte) とは何ぞや。

露國文豪 Tolstoy に就て

昭和六年六月二十七日 上田公 會堂に於て小西氏話

自分は明治16年に Russia に亘り大學を二つ卒業したるも學費に窮したるを以て論語・中庸・孟子を經を翻譯し之を Tolstoy に見て貰ひ何か譯に立ちや否や問ひたるに先生は一兩日調べられて相當價値あるものだからとて自分の機關雜誌に掲載方を取計ひて呉れたり之れより余と先生との關係始まりたるに其後老子を譯さんことを先生に問ひしにそれは大變の事だ、やる位なら獨、英、佛等の翻譯に毫も遜色なきものを出さねばならぬ故により考究を要するが兎に角やつて見るべしとて原本を圖書館で見付けよとのことであるから圖書館に行き約四萬部の中から老子四通り發見したり、此の翻譯に従事し全卷八十二章を隔日に持ち往きて先生に訂正を請ひ前後五十四

(5) 胎盤の構造及作用を記せ。
植物學試驗問題
(1) 植物の系統發生上鞭毛類 (Flagellata) の重要なき意義を説明せよ。
(2) 根の模式的横斷面を圖示し諸組織系配列の状態を指示せよ。
(3) 呼吸系數 (Respiration quotient) とは何ぞや。
(4) 次の術語につき簡単に説明せよ。
Idioblast, Thallophyta, Chemotaxis, Phylloaxis, Pollen tube, Haploid, Mesophyte inflorescens, Root tuberculus, Catalase. 以上

のである。

Tolstoy は實によき話し手なり大衆に話しかくる機會はなかりしも座談は殊に上手なりき聲は中聲にして聞く出で聴く者をして誠によき感じを興ふるのである、讀書は實に上手にて大家の中でも Tolstoy 程讀書の上手のものはないと思ふ聴くものをして恍惚たらしむ。

Tolstoy の家系は Russia 貴族の高級に屬する方にして皇族 (Peter 大帝及ロマノフ家より出ず) より分岐し Tolstoy の父は大なる領土を有したり父に五人の兒あり財産を五子に均分す Tolstoy の土地は 1500 町歩に農奴 70 人を有す晩年之れは農民に分配せり。

トルストイは生涯約 80 部の小説を著述せり 400 ページ位の本にして 98 卷となる二十三歳の頃より初めて死去の四五日前迄繼續せり就中傑作たる戦争と平和 War & Peace は稿を更むること七回に及びりと云ふ約 700 ページの大著述なり Tolstoy のペンになりたるものは皆努力の結果なりと云ふトルストイ盛年期には一日 18 時間宛勉強せり Tolstoy は格段趣味とはなかりしも五十歳の位頃より宗教方面に注意を拂ふ様になりたり此頃氏には心の革命起りたりそれは人間は死するときは財産は何の役にも立たぬ従て材を有することは何等幸福ではない如何して幸福の人生を送るべきかにつきて非常に煩悶をなし屢々自殺を企つこともありと云ふ此の事實の告白は氏の著書中文章に現はれてありと云ふかくて精神的煩悶を経て此の苦しみの後解決を耶蘇教によりて始めて得たり之

れより強き敬神愛人の人となりたり或る時出獵の途中心易き醫者に邂逅せり其醫師の曰く君獵に行ならば先づ自分の妻子を撃ちて行けと氏大に覺醒して直に獵を禁じたりと又或時來客あり氏煙草を飲む、客其の煙草を奪て捨つ氏大に驚く客曰く氏のタバコの有するニコチンの三倍量を擲らば人は死するなりと爾來氏は禁煙せり又 Tolstoy は文學に對する高き批評眼を有す英國のシェークスピアの著述中にて其の喜劇は大に氣に入らなかつた今日の勞農ロシアのゴリキーの著書も其の言葉使ひが氣に

### 臺灣への初旅

平田清親

くわなかつた、Goldi が尋ねて來ても Tolstoy の前では平々々々の様になつてびく／＼してをつたと謂ふ Tolstoy は忠告して曰く御前方は喜劇を書くことは止めた方がよい言葉づかいが下卑で物にならぬ若し書くなれば小品物に限るべしと。

我領土の最南端臺灣には文化の源臺北帝大に小泉助教を初め理農學部に二三の同窓生諸君が其道の御研究に御熱心である、私は諸氏の耳底に未だ消えやらぬ霧社事件の本場臺灣在在の同窓生中最古參者である故皆様へ臺灣の名所舊跡を御案内致し度と思ひますが何分御承知の「プロ」の事故簡單ながら紙上に「レヴュー」的に御案内致します。御見物の方々は 1931 年 8 月 15 日正午迄に神戸波止場若しくは 7 月 16 日午後四時迄に下の關(門司)にても可なりへ御集り下さい(但し便宜上皆様を臺灣へ初旅者として御案内します)

先づ御乗船に先きだちて次の臺灣概要を御一覽下さい。

【廣袤】周圍は三百九十九里で面積は二千三百三十二方里である。  
【人口】内地人二十一萬一千本島人四百十萬餘外國人四萬餘(主に支那人)蕃人十九萬九千計四百五十五萬人であるが内地人は本島人の二十

又氣候上に雨季乾燥季がある北部は自十二月至九月其の間冬季が雨季で霖雨多き他は乾燥季であるか、南部は之に反して自六月至九月其間夏季が雨季で霖雨多き他は乾燥季である又臺灣は其の横斷地帯となり従つて猛烈なる變遷を受くる事がある。  
【見學期】旅行には第一時侯が氣遣はれる臺灣の寒暑風雨は上述の通りであるが其觀光は矢張り春四五月の交秋九月より十一月頃迄が好適である夏期は果物の熟成期であるから南國の美果を賞味せんには夏期休暇を利用するか最も良し故に私は特に此季に諸氏を迎へるのである、製糖業の實際を視察せんには避寒を兼ねて冬季見物も亦策である

【衛生】臺灣は當初より新開地として衛生の設備最も模範的に行はれ上下水道の完備せることは初見參者の諸氏は全く驚異の眼を瞠はる處であつて内地の都市にも多く其類例を見ない程である臺灣の風土病は「マラリヤ」「チブス」であるが「マラリヤ」は年月に涉り銳意其の撲滅に努めた結果今では市街地には全然其の病影を認めずして過去の物語りとなつて居る又「チブス」は「チブス」の流行を注意防止機關の施設等によつて驚くべき程の流行を見ない

【生蕃】内地では處によると今でも誠首の弊習ある生蕃に脅えて不安の裡に生活を續け居るやう思つて居る處もある誠首の生蕃などは夫こそ鳥も通はぬ奥の山奥に蟄居するものであつて(平地で誠首するものは不徳なる資本家にして決して生蕃に非ず)之も警察の威力と撫育とによつて漸時其弊絶え誠首の如き今は昔の譚である現に花蓮港の平地蕃の如き先年野球場を組織して内地に遠征を試みし程の文化振りである(霧社事件ありしは相當の原因ありしが爲に

して別に誠首を目的としたるに非ず)  
【交通】縱貫鐵道基隆高雄間、本線は竹南に至り台中線、海岸線に岐れ更に南玉田に至りて連絡す高雄より台南州線に進む引返して八堵驛より宜蘭線、本線は更に平溪線に分る、臺北より淡水線、二水より集集線、嘉義より阿里山線等の幹支線あり而して縱貫鐵道の左右には製糖會社の輕便鐵道、軌道會社の臺車(俗稱トロツコ)臺灣特有のもの、其他自動車が縱横に疾走し居るを以て旅行上には何等の不便を感じない之で大体の豫備智識が出来た、いでや之より全島行脚の途に上らん、旅費は神戸基隆間船賃約二〇圓、内旅費は一日七圓より十圓御用意下さい、成可く安値に仕度いと思つておます、而して一周の日程約二十日を要するものと見て置ませう。

神戸より基隆へ(神戸正午出帆) 神戸乗船、世界の遊園地瀬戸内海の風光を賞でながら翌午前八時門司着基隆へは門司より三日の船路である此處迄は誰も酔つた人を見受けませんが此より玄海に入ると時々酔ふ人がありますから豫め御注意します。若し酔つたと思はれる時は甲板に出でて「ランニング」の練習をするのが一番適當です  
皆さん此船は「フソウ丸」一萬二千噸の船です神戸基隆間を此船と同様一萬噸級の優秀船六艘が常に往復して居ることは外國の近海にも勝りて我内臺灣は全く恵まれた航路です(米國行が何噸ですか其の比較して見て下さい)×××下關と門司から同窓の方が多勢來船×××  
船は門司を離れた  
滑るが如く玄海に出た、文字通り大なる浮城が滑り出した陸同様の不安もなく沖繩列島の間を潮を吹いて進む鯨をながめ至樂の内に三日は

夢の間に過ぎ初めて基隆の岩壁へ其体が悠然と横付になつた

通信

八雲立つ國より 石坂生

啓 御變りありませんか 信濃の夏！暑い感じはありますが何となくスツキリした気持ちがあります

過日は此の今市まで来られたそうです、地の理を知らぬとは云へ遺憾至極ですナ。當方をネグレクトするとは。出雲製織と云へば地域はやつぱり當大津村の分にもなつてゐるかと思はるゝ程近いのです、本當に眼と鼻の間です製織の工務の大將多田さんも大津に居られ懇意に願つて居ります。『雀敵』でもあります、一寸聞いて下さればすぐ知れましたのに、惜しい事をした、いやでも御座んせ

うが安來節の御馳走位は是非共聞いて歸つて戴く筈でしたのにと後で北本君から米子で聞いてフンガイしたもんでした。まあ以後は氣を付けて下さい。こんな都會離れした處へは余り人も來て呉れませんか。實は淋しいんです。學校もだん／＼變つて行く様です。此の間は一ヶ月余り米子へ出張して購買ひでした。

其の間に一寸倉吉の方へ行く汽車の中で神戸に居る須田君に遇ひました組合製糸を廻つて居られたのでした。どうも似た様な人が汗をふき／＼やつて來るでせう然しこんな處で？それに帽子をかぶつて居ると割合に裾野の方には森林があるので須田君ならもつと疎林になつて居る筈だと思つて居ると……脱いだ！、果然！光つて居る……やあ須田氏とはかり……久瀧よろしく……旅中ナンセンスです。 (七、一九、森山宛)

彙報

庶務報告

本年度代議員會並針塚先生還曆祝賀講演會、本年度即ち第五回代議員會は來る十一月二十二日(日曜日)に開き引き續き二十三二十四兩日針塚先生還曆祝賀講演會を開催することに決定した。

本會より先生の還曆を御祝福するたため鑄像を贈呈する計畫で目下製作中である鑄像は高さ約一尺一尺五寸の胸像である作者は母校にゆかり深い信州北安曇郡の御出身山本安曇氏で近くは一茶百年祭に際し一茶像をかつては米澤高等工業學校長の鑄像を製作された斯界の權威者である、山本氏は蠶業教育界の巨人吾が針塚

先生の鑄像を製作するにあたり單に信州と云ふ縁故ばかりで無く其の人格に非常な敬意を捧げて居るから心血を盡いで是非快心の作をして見たいと云はれて居る随分立派なものが出来やうと思ふ

母校より

本月は各科共修休と校外實習の時期で學校は頗る静寂なものである、紡織科は三年共實習に製絲科は一年は乾燥實習を終つて暑休に三年は遠うは、二年は新しく何れも實習に製絲科は一年は身体二

上田より

チブス禍 賜チブスは某家法事招待者三十名近くを喰つて一先づ大團圓を告げたと思つたが俄然方向を一轉して上田病院開業披露招待者に爪牙をむき出し忽ち五六名の犠牲者を病院に送り込んで了つた、さなきだに狹隘に苦しんで居た病院は四十余名を算するに及び文字通り立錐の余地もない状態に事務室から應接室迄もハチ切れさうである。

上田病院は新舊共に校舎と云ふ關係で殆ど母校職員全部が招待されて居るからはしなくもチブス禍と淺からぬ禍柄になつて了つた、潜伏期間と云はれる二週間を實は強がりを云つても内心はまた戦々兢兢たるもので過ぐる日もどかしく數へたものであつたが校内からも此の不運な籤を引きあてた犠牲者を二人出すに至つた一人は紡績科の教師小林清丸氏で他は養蠶科の教授遠藤保太郎氏令夫人である幸ひなことに此二人とも極めて輕病で些しの心配もないとのことであるが規定の病院生活は何とも御氣の毒に堪へない此の外都築貞吉氏の御令息も月末に入院せられた、校外にあつては十九銀行頭取飯島保作氏が遂に此の病に陥れて了つた飯島氏は今度六十三と十九と合併した新銀行八十二銀行の頭取に確定して居つたことだが借しめても余りある次第である氏は銀行家としては斯界の權威であつて特に狂歌にかけては野崎佐文と共に日本一の雙壁と言はれて居たと云ふことである。

伊藤と云ふ文學士がこの責任は未だ保苗者であつたものを退院させた長野赤十字にありと論じ赤十字が之に答へる等チブス合戦で世上が頗るやかましい、責任問題は別として潜伏期間を一ヶ月も過ぎたから今度こそは之で終りであらう、佐藤利一教授令夫人は殆ど御全快で不日御退院の起きは何より喜ばしい。

市會議員選舉 三十名定員の處各政黨を織り交せて四十七名と云ふ亂立ぶり却々の激戦であつた本月十七日三十名の顔ぶれが揃つたのであるが舊議員僅に七名新議員二十三名平均年齢も非常に低くなつたとは時代の流れは争はれない。政界各九名宛中立がキャスティングを握つて居るあたり明政會の背を思はせる蠶絲業に關係の深い常田信主笠原善吉氏が萬人確定を許しながら油斷から落選は頗る残念であつた。

年通り避暑に出かける人も少く高原列車の不入りも慘憺たるものであつたが八月に入つて辛く利用を増し特性を發揮することが出来るに至つた。

住所の移動及訂正

- 田中泰二(倉吉) 七、鳥取縣蠶業取締所
四方定雄(倉吉) 九、京都府綾部町榑町
柳田實作(倉吉) 十二、名古屋市中區丸田
富田秀雄(南高松) 十六、長崎縣蠶業試験場
小川茂(南高松) 十六、片倉蠶種製造所
竹内直人(倉吉) 十六、茨城縣筑波郡三嶋
村伊丹(倉吉) 十六、松本屋方
向山紀元(倉吉) 十六、片倉製糸紡績株式
岸益吉(倉吉) 二、群馬縣群馬郡上野
飯島直三(倉吉) 三、大日本生糸販賣組
手塚芳太郎(倉吉) 五、碓氷社事務所(高
石塚浪之助(長野) 七、龍上製糸株式會社
馬場政友(長野) 十、榑石製糸場(岩手
山岸實雄(群馬) 十、群馬縣新田
柳澤忠次(群馬) 十一、昭榮製絲株式會社
常木朝憲(群馬) 十二、碓氷社事務所(高
左右田武(群馬) 十二、昭榮製絲株式會社
笠原松平(群馬) 十三、甘樂社(群馬縣北
村田信三(群馬) 十三、昭榮製絲株式會社
入國治(群馬) 十三、昭榮製絲株式會社
是石春男(群馬) 十四、昭榮製絲株式會社
香掛(群馬) 十六、小口組製絲場(宮
小林運美(群馬) 十六、平山製作所(前橋
神津輝人(群馬) 十六、安曇社(長野縣北
栗野慎一郎(群馬) 十六、碓氷社事務所(高
岡倉美義(群馬) 十七、肥後製絲株式會社
深澤(群馬) 十八、甘樂社(群馬縣當